

## 山梨県立大学 人間福祉学部

### 2025 年度 外国人留学生特別選抜

#### 小論文 問題

山梨県は、外国人がコミュニティの大切な一員として尊重され、活躍できる県を目指している（注）。以下に示す資料は山梨県在住の 18 歳以上の外国人約 2,000 人を対象とした調査結果である。あなたは、山梨県がどのようになれば、この目標を達成できると考えるか。資料を参考にして、800 字以内で述べなさい。

（注）山梨県「やまなし外国人活躍ビジョン～外国人の皆さんにとって「第2のふるさと」となる県を目指して～」（2023年3月改訂）

## 暮らしについて

- ① 困ったときの相談相手  
「母国の友達」が 48.8%と最も多く、次いで「会社の人・学校の友達」が 44.5%と続いている。
- ② 生活に関わる情報の入手方法  
「インターネット」が 62.0%と最も多く、次いで「日本の友達・知り合い」が 58.4%と続いている。
- ③ 生活に関わる情報の入手の際に便利な言語  
「母国の言語」が 33.2%と最も多い。
- ④ 「やまなし外国人相談センター」の認知度  
「知っている」は約 20%、「知らない」は約 80%となっている。

## 多文化共生について

- ① 交流相手  
「会社や学校の日本人」が約 60%、「母国出身の人」が約 50%となっている。
- ② 外国人が暮らしやすい地域にするために必要なもの  
「外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」が 43.5%と最も多く、次いで「外国語による相談・通訳体制の充実」40.4%となっている。
- ③ 外国人が暮らしやすい地域にするために日本人に必要なもの  
「外国の文化、生活習慣の理解」が約 50%となっている。
- ④ 外国人が暮らしやすい地域にするために自身がしたいこと  
「日本の文化、生活習慣の理解」が最も多く 47.1%、次いで「日本語の学習、習得」が 45.7%となっている。

出典：山梨県「山梨県在留外国人アンケート調査報告書」から抜粋、一部変更  
[https://www.pref.yamanashi.jp/documents/106528/kekkozentai\\_2022.pdf](https://www.pref.yamanashi.jp/documents/106528/kekkozentai_2022.pdf)  
(最終アクセス 2024 年 9 月 9 日)